



JCS NEWS

日本チェロ協会会報 第11号 (2001年3月31日)

2000年度第2回評議委員会 報 告

去る3月6日(火)サントリーホールにて、2001年に入って最初の評議委員会が開かれました。堤剛会長、中島顕副会長、山崎伸子評議員、松本巧評議員、岸本健二評議員が出席、今後の活動について話し合い、あいにく入試時期と重なったこともあり、残念ながら欠席された評議員の方々には、後日結果報告をいたしました。

以下に決定しました項目をご報告致します。

地方でのチェロサロンについて

とかく会員在住の多い関東地区中心の活動となりがちなため、地方都市でのサロンを実現していく。まずは、2001年度秋以降、阪神地区にて松本評議員のご協力を頂いて実施したい。

また、名古屋地区においては中島副会長にご協力をお願いし、開催時期を検討していくこととする。

チェロ協会のイベントへの 非会員参加について

前項の地方都市でのチェロサロンを実施した場合、会員数を考えると、非会員以外の参加も多く見込まれる。そのため、今後は会員との差別化をはかるといふこともあり、またマスタークラスに関しては、会費にて運営されていることを鑑みて、非会員の方が参加を希望される場合は以下のように参加費を頂くこととする。

【非会員者】

チェロサロンへの参加 ... お一人1,000円を頂く

マスタークラス受講の場合 ... 会員になって頂く
" 聴講の場合 ... 一律1,000円を頂く

年会費について

これまでも、会費が高いとの声が少なからずあり、今後のチェロ協会の規模拡大のためにも正会員と学生会員の年会費については、2001年度分より金額を下げることにする。

改訂後の年会費は以下の通り

正会員 ... 6,000円

学生会員 ... 3,000円

(入会金1,000円、及び賛助会員費は現行のまま)

新年度会費については、別紙をご参照ください。

また、松本評議員より7月に神戸で行われる「第2回1000人のチェロ・コンサート」へ、プロの方々の積極的な参加を是非ともお願いしたいとのコメントがありました。

地方都市でのチェロサロンの開催については、詳細が決まり次第、ご案内をさせていただきます。

第8回 チェロサロン

恒例となりましたプロの先生によるチェロサロンが3月20日(火・祝)サントリーホール・リハーサル室にて行われました。

今回の主宰は毛利伯郎先生です。

参加者の皆さんの簡単な自己紹介から始まったサロンの一曲目は、クレンゲルの「アンブロンプチュ」。10分間の自主練習時間を与えられて、各自、自分のパートに目を通したあと、アンサンプルの開始となりました。パートの交換をして曲を通して弾いた後、メンバーの田中洋子さんが差し入れてくださったお菓子で一息。(田中さん、ありがとうございました)

休憩後は質問コーナーで、各自が日ごろ疑問に思っていることを先生に教えて頂きました。

そのまま、なだれこんだ後半のアンサンブルは、「きらきら星」、パッヘルベルの「カノン」、「G線上のアリア」と続き、終了時間が押してしまうほどでした。

参加された会員の方からの感想をご紹介します。

チェロサロン 参加報告

入内島 健 (R - 052)

3月20日、毛利伯郎さんのチェロサロンに参加しました。

カザルスの公開レッスンを聴かれたという“チェロのお母さん”から中学生まで、十数名の参加でしたが、密度の高い会になったと思います。

前半は、1パート2～3人ずつに分れてクレンゲルの四重奏 Impromptu を合奏しながら、要所所で先生の分奏指導を受け、曲の仕上げ方を教えて頂きました。

アマチュアチェロ弾きの結婚式でよく聴く曲なので、初めてでない方もいらっしまったのではないかと



と思いますが、チェロアンサンブルをプロの先生に指導して頂けるというのは、なかなか無い経験です。

後半は、技術に関するいろいろな質問に答えて頂きました。このような質問の機会がうまく活かされないことも多いのですが、今回は活発に質問が出て、質問をした方だけでなく、皆がいろいろ学べたと思います。参加者が持ち寄ったアンサンブル曲も三曲合奏することができ、皆満足して散会しました。

毛利先生、事務局やお手伝いの皆様、どうもありがとうございました。

とんねるを抜けると…

田中 洋子 (R - 157)

「突然、先生が弾くのを止めたんで、あせったよー！」とIさん。サントリーホールの駐車場を抜けながら、たった今、お別れしたばかりの毛利伯郎先生との“ふれあい”を、ひとりひとり胸にあたためて…。楽しかったチェロアンサンプルの響きの余韻が、右手に持ったチェロの心をふるわせています。

「自己紹介」で始まった今回のチェロサロン。先生は、ひとりひとりに優しい目を向け、うなずいて。そしてすぐにアンサンプル。先生の用意して下さった曲は、クレンゲルの「アンプロンプチュ」(舌をかみそうですね)。「いったいどんな曲かしら」とワクワクしました。

4つのパート分けは「みんな、好きなところに座りましょう」ということで、私は低音の4パートに座りました。

「あまりピブラートをつけないで、そう、教会のコラールのような響きで。」一瞬、教会の中で祈っているような気持ちになり、まるで高い天井のリハーサル室に、光が射し込んだようでした。とても“おごそかな響き”で始まった曲が進むと、「付点音符」や「3連符」のちょっとリズムが難しいところが出てきました。先生は「C線の付点音符が重たく聴こえるのは、腕だけで弾いているから。(ちょっと私たちのマネをして)手首を使って弾いてごらんさい。」と一緒に何回も練習して下さいました。そして「C線を押さえる時は(指板の)外側に向かって押さえて、内側にひっぱると、ビリッとした音がきこえるよ。」あ、そうか。しっかり押さえなきゃと内側にひっぱっていましたね、私。だんだん豊かな音色を感じてきました。

「どうでしょう、休憩の前に一度通しましょうか?」「はい」とみんな。先生の目を見つめて、弓を見つめて「アンプロンプチュ」の演奏が始まりました。ふと、先生はチェロを床に置いて立たれまし



た。「あれれ?」今度は先生の隣に座っていたIさんを見つめて演奏が続けられました。「ここは、大事なところだから」と、パート練習をした部分を思い出しながら。そして“有名な”メンデルスゾーンの「結婚行進曲」のメロディーがでてくると、もう、バッチリです。見学の方や事務局の方からたくさんの拍手をいただいて、ぼーっとしてしまいました。まるでコンサートのような気分でした。

たくさんの演奏家が練習されている空間。床にはエンドピンをさした跡がたくさんあります。どんなチェリストが、この跡をつけたのでしょうか?とうれしくなります。

その後の「お茶のひとつき」がどうなったかって?…そう、みんな打ち解け合って話が弾み、後半のアンサンプルへと入ったのでした。



音楽の空間

山崎 伸子

これから舞台に第一歩を踏み出すとき...演奏家にとって、最も不安と緊張につつまれる瞬間です。それまでに自分が準備したものを、十分に発揮して演奏できるだろうか？ 今日の聴衆は、はたして自分の音楽を受け入れてくれるのだろうか？ 心配の種は尽きません。しかし舞台に出てみると、とても温かい雰囲気を感じ、恐怖感も消え、のびのびと演奏できることがあります。反対に、とても冷えた感触を味わう事も、たまにはあります。

演奏者は、聴衆の応援、親しみ、批判の目、退屈した様子などを一身に浴びて演奏するわけですから、客席の空気が演奏に影響をおよぼさない筈はありません。舞台の上からは、意外なほど、客席の様子はわかるものなのです。冷えきった空気をものともせず、その人の熱とエネルギーですぐに会場を巻き込んでしまう人もいれば、反対に萎縮してしまって、持てる力の半分も出せなくなってしまう人もいます。なんととっても温かい拍手や、応援してくれる気持ちというのは、演奏家を勇気づけます。温かく、時には厳しく、集中して聴いてくれる聴衆がいてこそ、演奏家の技量も向上するのだと思います。このように演奏家に影響を及ぼすという点で、演奏会は映画やテレビとは決定的に違うものなのです。観客も演奏者の一部と言って差し支えないと思います。そしてこれこそが、録音された物では決して伝わることのない、空気の双方向のやりとりと言えるでしょう。まさに生演奏の醍醐味ではないでしょうか？

ときどき、わたしも客席から聴衆の一人として、舞台を眺めます。すると、演奏者の力量によって、空間の大きさに違いを感じる事があります。その人の周囲、わずか数メートル四方の空間で音楽が完結してしまい、客席まで空気が伝わって来ない時や、反対に会場の隅々までその人のオーラが満ちてくる、といったように様々です。偉大な音楽家は、巨大な空間を支配するパワーを持っています。これは、音量の大きさとは別のもので、また空気には、暖かさ、色、重さ、透明度、密度、スピード感、刺激性など、いろいろなものを感じる事ができます。すぐれた音楽家ほど、いろいろな感触を客席に与えてくれます。それからホールも大切な要素です。ホールを大きな楽器に見立てれば、演奏者というのは、ヴァイオリンの弦、すなわち振動体にすぎず、楽器の胴体の部分、つまり共鳴体はホールが受け持っていると考えていいでしょう。ホールが醸し出す雰囲気というのも、演奏に大きく影響するのではないのでしょうか？ いずれにしろ、音は空気を伝わっていくという宿命を持つものなので、もっと空気、空間というものに気を遣う必要があるでしょう。

数十年、数百年の時を経た作曲家の思いがそこによみがえる。それが、音楽の空間を通して客席に行きわたる。そして舞台と客席が響きの中で感動を共有できる...何と素晴らしいことでしょう！

この感動的な体験を味わうために、生演奏の会場へ行こうではありませんか。

情報コーナー

■■■■チェロ関連のコンサート■■■■

“アンサンブル チェリシム” 4人のチェリストたち
4月19日(木) 19:00開演 紀尾井ホール
全席自由 4000円
4月22日(日) 17:00開演 前橋 上毛ホール
全席自由 3000円
4月17日(火) 15:30開演
モネの庭(高知県北川村)開園一周年記念コンサート
【お問合せ】室内楽のタベ事務局 03-3428-0010

古川展生 チェロリサイタル「陶酔のチェロ名曲集」
4月20日(金) 13:30開演 横浜みなとみらいホール
【お問合せ】神奈川芸術協会 045-453-5080

アルバン・ゲルハルト チェロリサイタル
4月26日(木) 19:00開演 サントリーホール
【お問合せ】サントリーホール 03-3584-9999

第6回 宮崎国際室内音楽祭
～新たなる世紀への響き～(5/2~15)
5月8日(火) 19:00開演 ブラムスのタベ
5月9日(水) 19:00開演 シューベルトのタベ
5月15日(火) 19:00開演 巨匠たちによるフィナーレ
出演:堤剛(Vc)、上村昇(Vc)、原田禎夫(Vc)、他
【お問合せ】宮崎県立芸術劇場:0985-28-7766

ヴィルトゥオーゾ・ソロイスト
5月25日(金) 19:00開演 J Tアートホール
出演:毛利伯郎(Vc)、上村昇(Vc)、他
【お問合せ】J Tアートホール室内楽シリーズ事務局
03-3264-8338

デュオ・ペピチェッリ
6月5日(火) 19:00開演 カザルスホール
出演:フランチェスコ・ペピチェッリ(Vc)、
アンジェロ・ペピチェッリ(Pf)
【お問合せ】日本経済新聞社総合事業部
03-5255-2847

藤原真理 チェロ・リサイタル
6月12日(火) 19:00開演 カザルスホール
【お問合せ】コレクタ 03-3711-0979

20世紀の室内楽名曲選
ロシアで生まれたソナタを集めて
6月15日(金) 19:00開演 J Tアートホール
出演:向山佳絵子(Vc)、練木繁夫(Pf)
【お問合せ】J Tアートホール室内楽シリーズ事務局
03-3264-8338

フェスティバル・ソロイスト with イェフィム・ブロンフマン
6月15日(金) 19:00開演 サントリーホール
出演:堤剛(Vc)、竹澤恭子(Va)、他
【お問合せ】サントリーホール 03-3584-9999

日本フィルハーモニー交響楽団 第6回大宮定期演奏会
7月6日(金) 19:00開演 大宮ソニックシティ
出演:広上淳一(Cd) 藤原真理(Vc)
【お問合せ】大宮ソニックシティホール
048-647-7722

東京フィルハーモニー交響楽団 第649回定期演奏会
7月18日(水) 19:00開演 オーチャードホール
7月19日(木) 19:00開演 サントリーホール
出演:ヤーノシュ・コヴァーチュ(Cd)
セルゲイ・スロヴァチェフスキー(Vc)
【お問合せ】東京フィルハーモニー交響楽団
03-5353-9522

東京都交響楽団 プロムナードコンサート No.292
9月16日(日) 14:00開演 サントリーホール
出演:金聖響(Cd) 趙 静(Vc)
【お問合せ】都響ガイド 03-3822-0727

ウラディーミル・アシュケナーヅ指揮
チェコ・フィルハーモニー管弦楽団
11月12日(月) 19:00開演 サントリーホール
出演:スティーヴン・イッサーリス(Vc)
【お問合せ】梶本音楽事務所 03-3289-9999
06-6345-2751

■■■■チェロ関連のイベント■■■■

第3回別府アルゲリッチ音楽祭(4/14~22)
「ミッシャ・マイルスキーによる公開チェロマスタークラス」
4月18日(水) 18:00開演
大分ビーコンプラザ・国際会議室
【お問合せ】別府アルゲリッチ音楽祭実行委員会事務局
0977-27-2299
<http://www.coara.or.jp/~festival/>

泉の森 チェロ・コントラバスフェスティバル2001
「アマチュアのための
チェロ・コントラバスセミナー 公開レッスン」
5月12日(土) 13:30~
チェロ公開レッスン講師:堀了介
「第1回 泉の森国際コンクール」
5月8日(火)~13日(日)
「第1回 泉の森ジュニアチェロコンクール」
5月5日(土) 6日(日)
大阪府泉佐野市立文化会館(泉の森ホール)
【お問合せ】(財)泉佐野市文化振興財団内
「チェロ・コントラバスフェスティバル」事務局
0724-69-7105
<http://www.city.izumisano.osaka.jp/imh>

イーストマン音楽学校夏季セミナー in 浜松
8月6日(月)~15日(水) アクトシティ浜松
夏季セミナーへ参加する以外にも、一般の方は、
個人レッスン・スタジオクラス・マスタークラス
を聴講する事ができます。
【お問合せ】浜松市アクトシティ音楽院
053-451-1150
http://www.smf.or.jp/seminer_info/eastman/index.html

クロンベルク アカデミー 第5回チェロ・フェスティバル
2001年10月25日(木)~28日(日)
【お問合せ】クロンベルク・アカデミー
+49-6173-950085
www.kronbergacademy.de
事務局にご案内兼申込書があります。あいにく
1部だけですが、コピーをお送りしますので、
ご希望の方はご連絡ください。

事務局より

2001年度から年会費が 下がりました!

3月の評議委員会での討議の結果、2001年度分より年会費の金額が変わります。

	変更前	変更後
正会員	10,000円	6,000円
学生会員	5,000円	3,000円

- ・賛助法人会員の額には変更はありません。
- ・2001年度更新を頂いた方から新年度会員証と名簿をお送りさせていただきます。

かねてよりご連絡しておりましたように、2001年度から全会員、更新時期を4月に統一させていただきます。同封のご案内をお読み頂いた上で、下記の口座へのお振り込みをお願いいたします。

【お振り込み先】

富士銀行 神谷町支店 普通 2712673
三井住友銀行 赤坂支店 普通 7909038
口座名義「日本チェロ協会」

銀行からご入金を頂いた方は、振込み控えが領収書の代わりとなりますので大事に保管ください。

現金にてお納め頂いた方は、事務局より領収書を送付致します。

なお、2000年度分までの更新がお済みでない方は、早急に手続きをお願いいたします。

ご入金を頂けない場合は、自動的に退会手続きを取らせて頂く場合がございます。

○ インタビュアー募集!!

JCS NEWSにて、チェロ協会のプロの先生方へのインタビュー企画を計画中です。

ついては、会員の中からインタビュアーを募集します。プロの方のチェロに対する姿勢や自己管理方法、数ある楽器の中からどうしてチェロを選んだのか等々、みなさんが普段知りたいことをこの機会に聞いてみませんか?

ひょっとすると、日頃うまく弾けない曲についてアドバイスを頂いてしまったりできる?!・・・かどうかはわかりませんが興味のある方、事務局までご連絡ください。また、どなたにインタビューしたいかご希望があれば、あわせてお知らせください。

○ リポーターも募集!!!

前号でお知らせしました7月26日～29日に神戸で行われる神戸チェロフェスティバルをレポートしてくれる方を募集します。

こちらも、ご協力頂ける方は事務局までご連絡ください。

○ JCSニュース 次号発行 スケジュール

原稿締め 7月31日(火) 発送 8月31日(金)

コンサートのちらし等の同送をご希望の方は8月15日(水)までに事務局宛にお送りください。

編 集 後 記

めっきり、暖かくなってきました。事務局の周辺の桜も、毎年見事な花を見せてくれます。

学生時代からのひそかな願望は、温泉に入りながら、満開の桜を眺めつつ、お酒をちびりちびり...というものでした。が、現実には会報の締め切りが気になって、お花見という気分には程遠く...

チェロに関して、皆さんの投稿をお待ちしています。どんな切り口でも結構です。

双方向で情報のやり取りができる会員参加型の会報にしていきたいと思っています。

また、紙面上で扱って欲しいことがありましたら、ご意見をお寄せ下さい!

力不足な点もありますが、可能な限り皆様のご要望にお応えしていきたいと思えます。

日本チェロ協会会報 (JCS NEWS) 第11号
2001年3月31日発行

発行: 日本チェロ協会

東京都港区赤坂1-13-1 サントリーホール内

電話 03-3505-1001 FAX 03-3505-1007

発行人: 堤 剛

編集: 日本チェロ協会事務局

編集協力: リュウカンパニー